

2021年3月期 第2四半期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス
2020年11月4日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

目次

<2021年3月期 第2四半期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・	6
・事業セグメント別 業績概要	・・・	7
・非経常項目	・・・	11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・	12
・連結財政状態計算書	・・・	13

<2021年3月期 通期業績予想修正>

・業績予想 連結損益計算書	・・・	15
・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	16
・配当の状況	・・・	17

<参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	・・・	19
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・	20
・設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数	・・・	21
・各報告セグメントの事業部門	・・・	22

<参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2020年度 第2四半期 決算概要	・・・	23
--------------------	-----	----

2021年3月期 第2四半期 連結決算

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

					(億円)		新型コロナ影響(概算)
		1Q	2Q	21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減	21/3月期 上期実績
全社	売上収益	7,227	7,821	15,048	18,277	△ 3,229	
	コア営業利益	150	396	546	1,308	△ 762	△ 637
機能部材	売上収益	1,427	1,504	2,931	3,472	△ 541	
	コア営業利益	87	87	174	265	△ 91	△ 140
機能化学	売上収益	875	930	1,805	2,197	△ 392	
	コア営業利益	12	29	41	136	△ 95	△ 116
機能商品	売上収益	2,302	2,434	4,736	5,669	△ 933	
	コア営業利益	99	116	215	401	△ 186	△ 256
MMA	売上収益	525	621	1,146	1,498	△ 352	
	コア営業利益	△ 12	30	18	252	△ 234	△ 130
石化	売上収益	842	984	1,826	2,718	△ 892	
	コア営業利益	△ 136	11	△ 125	18	△ 143	△ 129
炭素	売上収益	444	394	838	1,355	△ 517	
	コア営業利益	△ 13	△ 26	△ 39	89	△ 128	△ 62
ケミカルズ	売上収益	1,811	1,999	3,810	5,571	△ 1,761	
	コア営業利益	△ 161	15	△ 146	359	△ 505	△ 321
産業ガス	売上収益	1,829	1,985	3,814	4,195	△ 381	
	コア営業利益	135	221	356	443	△ 87	△ 114
ヘルスケア	売上収益	952	988	1,940	1,955	△ 15	
	コア営業利益	89	45	134	103	31	54
その他	売上収益	333	415	748	887	△ 139	
	コア営業利益	△ 12	△ 1	△ 13	2	△ 15	0
【受払差】							
	機能化学	△ 5	△ 3	△ 8	△ 11	3	
	石化	△ 143	△ 5	△ 148	△ 34	△ 114	
	炭素	△ 5	△ 9	△ 14	△ 6	△ 8	
	合計	△ 153	△ 17	△ 170	△ 51	△ 119	

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

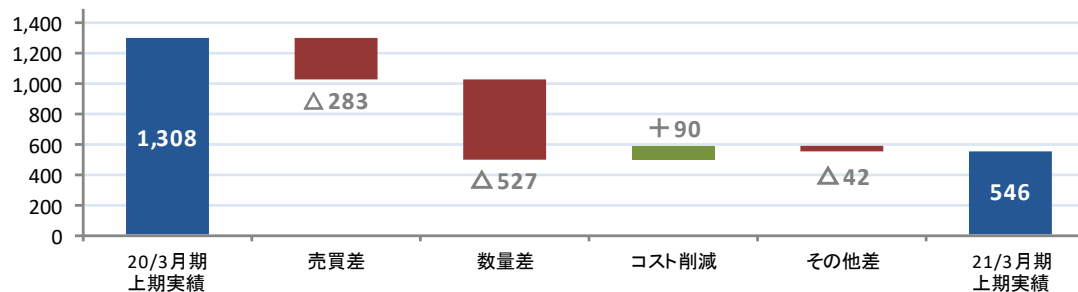
コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減				
				売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	546	1,308	△ 762	△ 283	△ 527	90	△ 42
機能商品	215	401	△ 186	2	△ 273	34	51
ケミカルズ	△ 146	359	△ 505	△ 239	△ 126	14	△ 154
産業ガス	356	443	△ 87	16	△ 110	1	6
ヘルスケア	134	103	31	△ 64	△ 18	41	72
その他	△ 13	2	△ 15	2	0	0	△ 17

*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

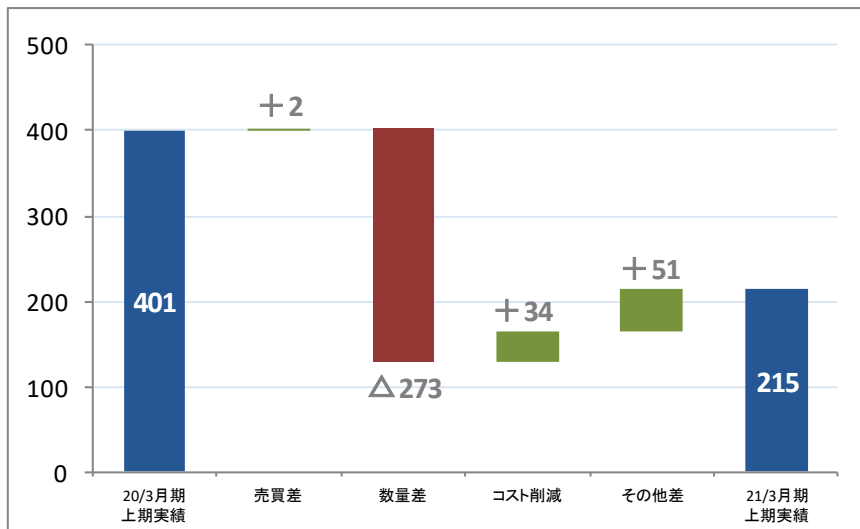
為替影響	△ 5	△ 15	△ 1	-	11
うち換算差		△ 3			



機能商品セグメントの業績概要

		(億円)		
		21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減
機能部材	売上収益	2,931	3,472	△ 541
	コア営業利益	174	265	△ 91
機能化学	売上収益	1,805	2,197	△ 392
	コア営業利益	41	136	△ 95
機能商品	売上収益	4,736	5,669	△ 933
	コア営業利益	215	401	△ 186

<コア営業利益 増減要因>



新型コロナウイルス感染症の概算影響

▲256億円 (機能部材▲140億円 機能化学▲116億円)

<セグメント内識別 業績概要>

機能部材	売上収益	足元では持ち直しの動きが見られるものの自動車用途を中心に需要が弱含む中、高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量が減少。
	コア営業利益	高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量の減少等により減益。
機能化学	売上収益	機能性樹脂をはじめとして、総じて自動車向けの販売数量が減少したに加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理の影響により販売数量が減少。
	コア営業利益	機能性樹脂やフェノール・ポリカーボネートチェーン等の販売数量の減少等により減益。

<トピックス>

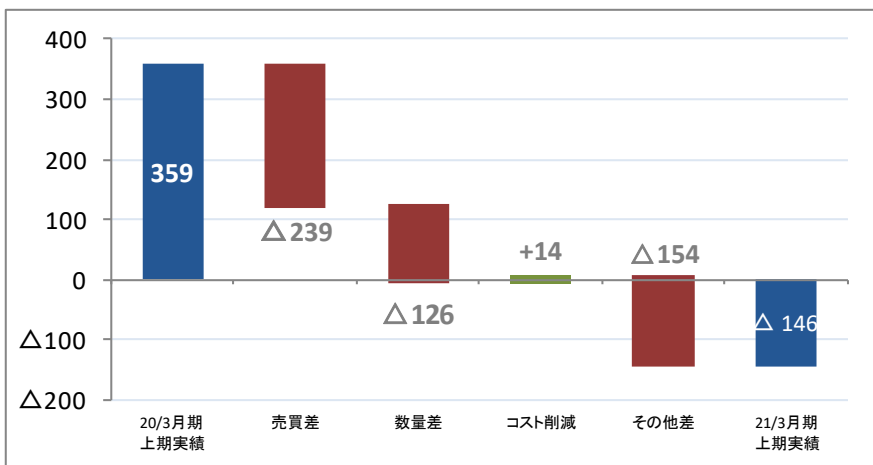
- 三菱ケミカル社は、コンタクトレンズ原料や抗菌剤などのケイ素化合物、半導体プリカーサー等に用いられる金属化合物等の領域において、高度な分子設計・合成技術を保有するジェレスト社を買収することを2020年4月に決定し、同年10月に連結子会社化。同社の広範な知見と、三菱ケミカル社の技術、経営資源、顧客ネットワーク等を組み合わせることで、提供可能なソリューションの大幅な拡充を目指す。
- 三菱ケミカル社と宇部興産社は、2020年3月に発表した電解液事業の統合について、両社の同事業に関する資産を合弁新設社(MUアイオニックソリューションズ社)に承継・統合する旨の共同新設分割計画書に同年7月に合意し、同合弁新設社を10月に設立。

ケミカルズセグメントの業績概要

(億円)

		21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減
MMA	売上収益	1,146	1,498	△ 352
	コア営業利益	18	252	△ 234
石化	売上収益	1,826	2,718	△ 892
	コア営業利益	△ 125	18	△ 143
炭素	売上収益	838	1,355	△ 517
	コア営業利益	△ 39	89	△ 128
ケミカルズ	売上収益	3,810	5,571	△ 1,761
	コア営業利益	△ 146	359	△ 505

＜コア営業利益 増減要因＞



新型コロナウイルス感染症の概算影響

▲321億円 (MMA ▲130億円 石化 ▲129億円 炭素 ▲62億円)

＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	MMAモノマー等の市況は足元では上昇の動きがみられるものの、前年同期比では下落したことにより減収。
	コア営業利益	市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小等により減益。
石化	売上収益	エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したことにより販売数量が減少したことに加え、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下。
	コア営業利益	定期修理の影響拡大及び原料価格下落に伴う受払差損等により減益。
炭素	売上収益	原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びコークス等の需要減退に伴う販売数量の減少により減収。
	コア営業利益	輸出コークス等の原料と製品の価格差縮小等により減益。

- 日本ポリプロ社は、収益力の強化に向けた構造改革の一環として、同社の五井工場(千葉県市原市)におけるポリプロピレン製造設備1系列(年産7万トン)を2021年1月(予定)に停止することを2020年7月に決定。
- 日本ポリエチレン社は、同社の鹿島工場(茨城県神栖市)における高圧法低密度ポリエチレン製造設備1系列(年産6.2万トン)を2021年5月(予定)に停止し、同製品の生産を川崎工場(神奈川県川崎市)に集約するとともに、事業再構築の一環として川崎工場で生産しているエチレン酢酸ビニルコポリマー(EVA)の生産・販売を終了することを2020年9月に決定。

産業ガスセグメントの業績概要

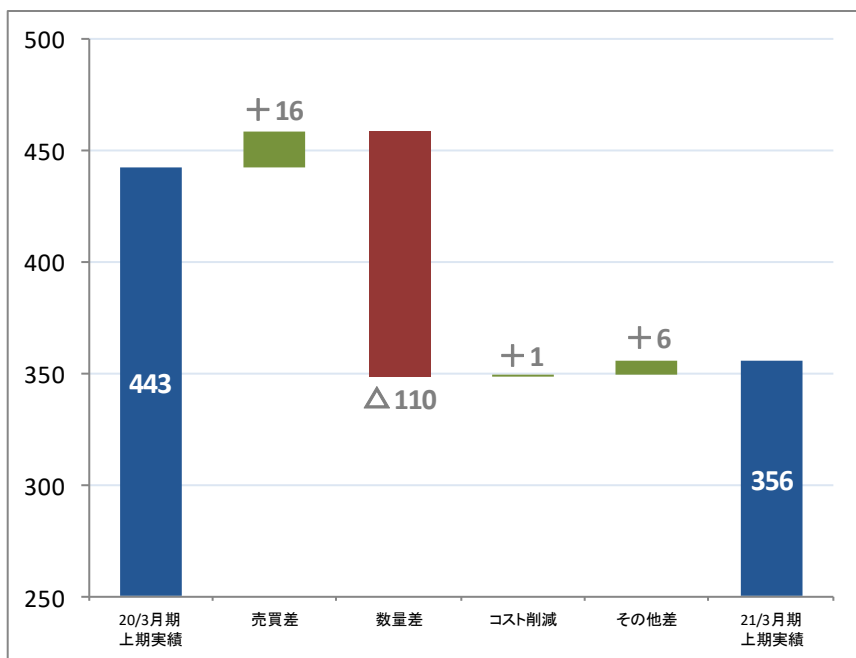
(億円)

		21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減
産業ガス	売上収益	3,814	4,195	△ 381
	コア営業利益	356	443	△ 87

＜セグメント内識別 業績概要＞

産業ガス	売上収益	エレクトロニクス関連向けガスが堅調に推移したものの、国内外の需要が総じて減退したことにより減収。
	コア営業利益	国内外の需要が総じて減退したこと等により減益。

＜コア営業利益 増減要因＞



新型コロナウイルス感染症の概算影響 ▲114億円

ヘルスケアセグメントの業績概要

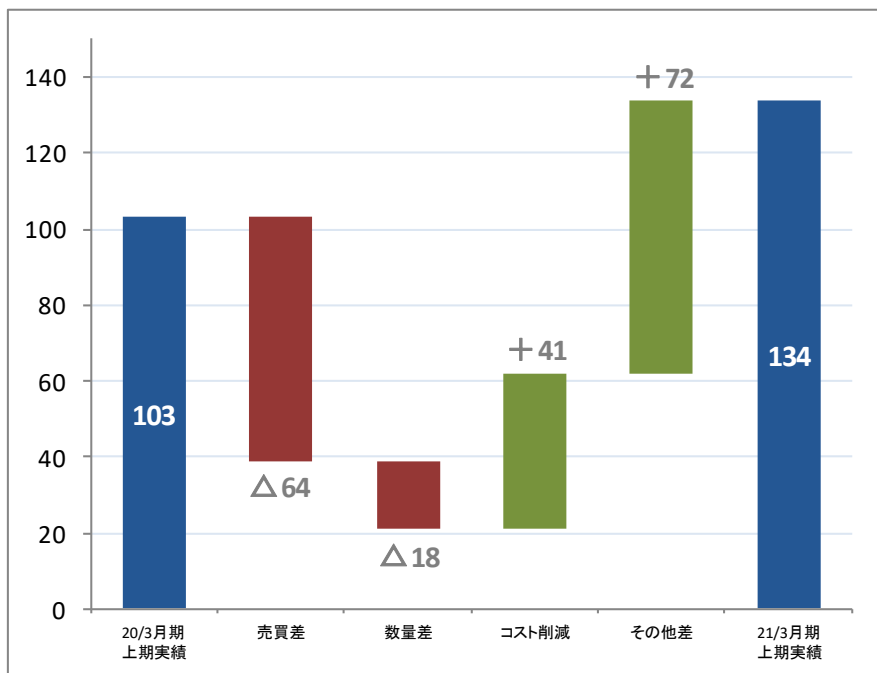
(億円)

		21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績	増減
ヘルスケア	売上収益	1,940	1,955	△ 15
	コア営業利益	134	103	31

＜セグメント内識別 業績概要＞

ヘルスケア	売上収益	薬価改定等の影響による国内医療用医薬品の減少があったものの、重点品の販売数量が伸長したことにより、前年同期並み。
	コア営業利益	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等による販売費や研究開発費の減少により増益。

＜コア営業利益 増減要因＞



注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

- 田辺三菱製薬社は、エダラボン(一般名)(米国製品名:「ラジカヴァ」)の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の適応症について、日本・韓国・米国・カナダ・スイス・中国に次ぎ、2020年7月にインドネシアで承認を取得。

新型コロナウイルス感染症の概算影響 +54億円

非経常項目

(億円)

				20/3月期 上期実績	増減
	1Q	2Q	21/3月期 上期実績		
非経常項目 合計	87	△ 914	△ 827	△ 2	△ 825
減損損失	△ 0	△ 870	△ 870	△ 14	△ 856
固定資産除売却損	△ 2	△ 30	△ 32	△ 11	△ 21
特別退職金	△ 0	△ 0	△ 0	△ 10	10
固定資産売却益	81	5	86	19	67
関係会社株式売却益	9	-	9	5	4
減損損失戻入益	-	-	-	17	△ 17
その他	△ 1	△ 19	△ 20	△ 8	△ 12

【セグメント別内訳】

機能商品	8	△ 44	△ 36	△ 2	△ 34
ケミカルズ	△ 0	△ 23	△ 23	△ 11	△ 12
産業ガス	-	△ 1	△ 1	4	△ 5
ヘルスケア	81	△ 846	△ 765	8	△ 773
その他	△ 2	△ 0	△ 2	△ 1	△ 1

連結キャッシュ・フロー計算書

財務諸表ベース

	21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績
営業活動によるCF	1,633	2,512
税前損益	△ 368	1,480
減価償却費	1,199	1,191
営業債権債務	△ 168	284
棚卸資産	169	32
その他	801	△ 475
投資活動によるCF	△ 430	△ 1,057
設備投資	△ 1,271	△ 1,082
資産売却	188	91
投融資 他	653	△ 66
FCF	1,203	1,455
財務活動によるCF	526	△ 2,210
有利子負債	1,726	△ 1,757
子会社株式追加取得	* 2 △ 982	△ 14
配当 他	△ 218	△ 439
現金及び現金同等物の増減	1,729	△ 755
為替換算差等	19	△ 118
現金及び現金同等物期首残高	2,282	3,215
現金及び現金同等物期末残高	4,030	2,342

* 1 実質ベース

(億円)

21/3月期 上期実績	20/3月期 上期実績
1,633	2,512
△ 368	1,480
1,199	1,191
△ 168	284
169	32
801	△ 475
△ 1,130	△ 896
△ 1,271	△ 1,082
188	91
△ 47	95
503	1,616

* 1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

* 2 田辺三菱製薬株式の追加取得△954億円

連結財政状態計算書

	(億円)		
	20/9月末	20/3月末	増減
現金及び現金同等物	4,030	2,282	1,748
営業債権	6,455	6,985	△ 530
棚卸資産	5,903	6,065	△ 162
その他	1,211	2,161	△ 950
流動資産合計	17,599	17,493	106
固定資産	21,807	22,528	△ 721
のれん	6,303	6,168	135
投融資等	5,083	5,132	△ 49
非流動資産合計	33,193	33,828	△ 635
資産合計	50,792	51,321	△ 529

	(億円)		
	20/9月末	20/3月末	増減
有利子負債	25,784	23,881	1,903
営業債務	3,281	3,981	△ 700
その他	7,591	8,951	△ 1,360
負債合計	36,656	36,813	△ 157
資本金・剰余金等	11,832	12,345	△ 513
その他の資本の構成要素	△ 611	△ 643	32
親会社の所有者に帰属する持分	11,221	11,702	△ 481
非支配持分	2,915	2,806	109
資本合計	14,136	14,508	△ 372
負債・資本合計	50,792	51,321	△ 529

ネット有利子負債 *1	21,754	20,899	855
ネットD/Eレシオ	1.94	1.79	0.15
親会社所有者帰属持分比率	22.1%	22.8%	△0.7%
ROE *2	-	4.2%	-

*1 ネット有利子負債(20/9月末)

=有利子負債25,784億円-(現金・現金同等物4,030億円+手元運用資金残高0億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

2021年3月期 通期業績予想修正

業績予想 連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	106.3	106.0	106.2
ナフサ単価 (¥/kl)	27,600	33,000	30,300

109.0
42,900

					(億円)		<参考>	
継続事業 *1		上期実績	下期予想	21/3月期 通期予想	5/13発表 通期予想	増減	乖離率	20/3月期 実績
		売上収益	15,048	16,702	31,750	33,340	△ 1,590	△5%
	コア営業利益	546	854	1,400	1,400	0	0%	1,948
	非経常項目	△ 827	*2△ 533	△ 1,360	△ 30	△ 1,330		△ 505
	営業利益 (△損失)	△ 281	321	40	1,370	△ 1,330	△97%	1,443
	金融収益・費用	△ 87	△ 113	△ 200	△ 230	30		△ 223
	税引前利益 (△損失)	△ 368	208	△ 160	1,140	△ 1,300		1,220
	法人所得税	△ 31	△ 149	△ 180	△ 370	190		△ 523
	継続事業からの当期利益 (△損失)	△ 399	59	△ 340	770	△ 1,110		697
	非継続事業からの当期利益	-	-	-	-	-		169
	当期利益 (△損失)	△ 399	59	△ 340	770	△ 1,110		866
	親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△損失)	△ 497	△ 93	△ 590	490	△ 1,080	-	541
	非支配持分に帰属する当期利益	98	152	250	280	△ 30		325

*1 非継続事業に係る数値を控除しております。

*2 MMAポーモン工場閉鎖に伴う減損損失・停止関連費用△240、構造改革費用 他

業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

					(億円)		<参考>
		上期実績	下期予想	21/3月期 通期予想	5/13発表 通期予想	増減	20/3月期 実績
全社	売上収益	15,048	16,702	31,750	33,340	△ 1,590	35,805
	コア営業利益	546	854	1,400	1,400	0	1,948
機能部材	売上収益	2,931	3,159	6,090	6,480	△ 390	6,804
	コア営業利益	174	196	370	370	0	395
機能化学	売上収益	1,805	2,085	3,890	4,120	△ 230	4,377
	コア営業利益	41	99	140	140	0	217
機能商品	売上収益	4,736	5,244	9,980	10,600	△ 620	11,181
	コア営業利益	215	295	510	510	0	612
MMA	売上収益	1,146	1,064	2,210	2,470	△ 260	2,625
	コア営業利益	18	32	50	260	△ 210	238
石化	売上収益	1,826	2,224	4,050	4,490	△ 440	5,344
	コア営業利益	△ 125	25	△ 100	△ 130	30	△ 21
炭素	売上収益	838	882	1,720	1,920	△ 200	2,466
	コア営業利益	△ 39	9	△ 30	30	△ 60	81
ケミカルズ	売上収益	3,810	4,170	7,980	8,880	△ 900	10,435
	コア営業利益	△ 146	66	△ 80	160	△ 240	298
産業ガス	売上収益	3,814	4,406	8,220	8,220	0	8,433
	コア営業利益	356	444	800	800	0	880
ヘルスケア	売上収益	1,940	1,930	3,870	3,870	0	3,931
	コア営業利益	134	△ 4	130	△ 10	140	165
その他	売上収益	748	952	1,700	1,770	△ 70	1,825
	コア営業利益	△ 13	53	40	△ 60	100	△ 7

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

配当の状況

当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としており、配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、中期的な利益水準の30%を連結配当性向の目安とし、安定的に配当を実施することとしております。

コロナ禍の影響及びリスクを取った過去の成長投資の減損によって、当期は大幅な赤字となる見込ですが、「中期的な利益水準の30%配当性向」かつ「安定配当」が当社の基本方針であることを鑑み、期初の配当予想を堅持し、中間配当金については1株当たり12円といたしました。

		21/3月期 予想	前回予想	20/3月期	19/3月期	18/3月期
1株当り配当金	第2四半期末	12円	12円	20円	20円	15円
	期末	(予想)12円	12円	12円	20円	17円
	合計	(予想)24円	24円	32円	40円	32円
1株当り当期利益	期末	△41円54銭	34円51銭	38円08銭	119円22銭	147円14銭
配当性向(連結)	合計	—	69.6%	84.0%	33.6%	21.7%

参考資料①

連結損益計算書 四半期別推移

為替レート(¥/\$)	109.7	107.7	109.3	109.1	107.4	105.3
ナフサ単価(¥/kl)	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000	30,200

(億円)

	20/3月期				21/3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
継続事業*2	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821
	コア営業利益*1	701	607	502	138	150	396
	非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914
	営業利益(△損失)	699	607	300	△ 163	237	△ 518
	金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33	△ 54
	(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)	(3)
	(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)	(△ 4)
	税引前利益(△損失)	666	558	223	△ 227	204	△ 572
	法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122	91
	継続事業からの当期利益(△損失)	484	364	66	△ 217	82	△ 481
非継続事業からの当期利益	5	164	-	-	-	-	
当期利益(△損失)	489	528	66	△ 217	82	△ 481	
親会社の所有者に帰属する 当期利益(△損失)	378	435	△ 50	△ 222	52	△ 549	
非支配持分に帰属する当期利益	111	93	116	5	30	68	

*1 内、持分法投資損益

50 31 26 27

2 9

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

		20/3月期				21/3月期		新型コロナ影響(概算)		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	20/3月期 4Q	21/3月期 1Q 2Q	
全社	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821			
	コア営業利益	701	607	502	138	150	396	△ 78	△ 382	△ 255
機能部材	売上収益	1,718	1,754	1,723	1,609	1,427	1,504			
	コア営業利益	126	139	90	40	87	87	△ 7	△ 69	△ 71
機能化学	売上収益	1,102	1,095	1,086	1,094	875	930			
	コア営業利益	71	65	44	37	12	29	△ 11	△ 63	△ 53
機能商品	売上収益	2,820	2,849	2,809	2,703	2,302	2,434			
	コア営業利益	197	204	134	77	99	116	△ 18	△ 132	△ 124
MMA	売上収益	777	721	592	535	525	621			
	コア営業利益	138	114	5	△ 19	△ 12	30	△ 29	△ 59	△ 71
石化	売上収益	1,347	1,371	1,373	1,253	842	984			
	コア営業利益	8	10	10	△ 49	△ 136	11	△ 22	△ 104	△ 25
炭素	売上収益	717	638	622	489	444	394			
	コア営業利益	60	29	10	△ 18	△ 13	△ 26	△ 9	△ 31	△ 31
ケミカルズ	売上収益	2,841	2,730	2,587	2,277	1,811	1,999			
	コア営業利益	206	153	25	△ 86	△ 161	15	△ 60	△ 194	△ 127
産業ガス	売上収益	2,086	2,109	2,088	2,150	1,829	1,985			
	コア営業利益	211	232	222	215	135	221		△ 83	△ 31
ヘルスケア	売上収益	1,025	930	1,123	853	952	988			
	コア営業利益	91	12	117	△ 55	89	45		27	27
その他	売上収益	392	495	424	514	333	415			
	コア営業利益	△ 4	6	4	△ 13	△ 12	△ 1		0	0

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数

	設備投資		減価償却費		研究開発費		従業員数 (人)
	21/3月期 上期	20/3月期 上期	21/3月期 上期	20/3月期 上期	21/3月期 上期	20/3月期 上期	
機能商品	481	299	302	298	111	127	25,196
ケミカルズ	369	254	321	319	48	47	8,219
産業ガス	308	369	442	427	17	18	19,775
ヘルスケア	105	90	82	83	356	416	7,425
その他	39	28	52	51	60	51	9,319
全社	1,302	1,040	1,199	1,178	592	659	69,934

各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳		
			事業内容	
機能商品	機能商品	機能部材	情電・ディスプレイ	光学フィルム、ディスプレイ・半導体関連製品
			高機能フィルム	包装フィルム、工業フィルム
			環境・生活ソリューション	アクア・分離ソリューション、インフラ・アグリマテリアルズ
			高機能成形材料	高機能エンジニアリングプラスチック、繊維、炭素繊維複合材料、機能成形複合材、アルミナ繊維・軽金属
		機能化学	高機能ポリマー	パフォーマンスポリマーズ、エンジニアリングポリマーズ、サステイナブルリソース
			高機能化学	機能化学品、機能材料、食品機能材
			新エネルギー	リチウムイオン電池材料、エネルギー変換部材
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

参考資料②

(田辺三菱製薬 決算概要)



2020年度第2四半期 決算概要

(2020年4月1日～2020年9月30日)

2020年11月4日

2020年度第2四半期 決算概要

	2020年度 第2四半期	前年同期比較		
		2019年度 第2四半期	増減額	増減率
売上収益	億円 1,873	億円 1,881	億円 △ 8	% △ 0.4
国内	1,550	1,546	+ 4	+ 0.3
海外	323	335	△ 12	△ 3.6
海外売上比率	17.2%	17.8%		
売上原価	948	885	+ 63	+ 7.1
売上原価率	50.6%	47.1%		
売上総利益	925	996	△ 71	△ 7.1
販管費等	779	879	△ 100	△ 11.4
内、研究開発費	339	398	△ 59	△ 14.8
コア営業利益 ^{*1}	146	117	+ 29	+ 24.5
非経常項目 ^{*2}	△ 765	9	△ 773	-
内、固定資産売却益（戸田）	75	-	+ 75	-
内、減損損失 ^{*3}	△ 845	-	△ 845	-
営業利益 ^{*2}	△ 619	126	△ 745	-
金融損益 ^{*2}	3	△ 4	+ 7	-
当期利益（親会社帰属） ^{*2}	△ 510	83	△ 593	-
期中平均レート（米ドル）	106.32円	108.67円		

*1 当四半期における新型コロナ影響：+55億円

開発費用の発生遅れ、販売活動縮小による経費減少が受診抑制等による売上減の影響を上回り増益影響

*2 費用・損失の場合に△と表示

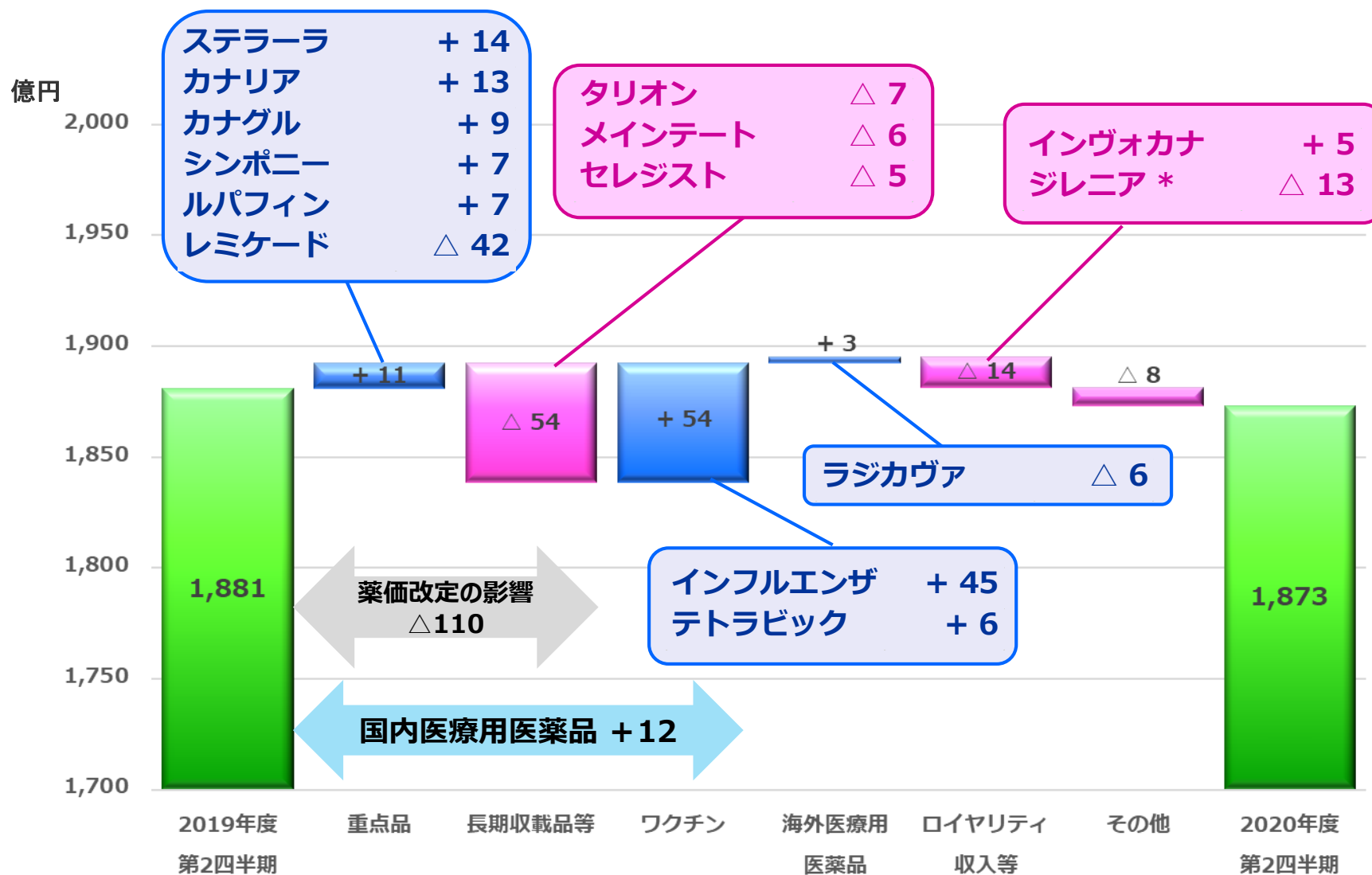
*3 減損損失に関しては、本資料「ND0612 開発計画の変更および減損損失発生について」を参照ください

	2020年度 第2四半期	前年同期比較		
		2019年度 第2四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	1,503	1,492	+ 12	+ 0.8
重点品	899	887	+ 11	+ 1.3
ワクチン	211	157	+ 54	+ 34.3
長期収載品等	393	447	△ 54	△ 12.0
海外医療用医薬品	251	249	+ 3	+ 1.0
ラジカヴァ	111	116	△ 6	△ 4.9
ロイヤリティ収入等	78	92	△ 14	△ 15.1

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2020年度 第2四半期	前年同期比較		
		2019年度 第2四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
レミケード	234	276	△ 42	△ 15.2
シンポニー	212	205	+ 7	+ 3.6
ステラーラ	140	126	+ 14	+ 10.9
テネリア	80	81	△ 1	△ 1.5
カナグル	50	41	+ 9	+ 22.8
カナリア	50	38	+ 13	+ 33.6
バフセオ (8月発売)	3	-	+ 3	-
レクサプロ	76	75	+ 2	+ 2.1
ルパフィン	32	25	+ 7	+ 29.0
イムセラ	21	22	△ 0	△ 2.1
重点品合計	899	887	+ 11	+ 1.3
インフルエンザワクチン	63	18	+ 45	+ 253.2
テトラビック	51	46	+ 6	+ 12.5
ミールビック	37	35	+ 2	+ 5.3
ジェービックV	29	29	+ 0	+ 1.3
水痘ワクチン	25	25	△ 0	△ 0.6
ワクチン合計	211	157	+ 54	+ 34.3
重点品・ワクチン合計	1,110	1,045	+ 65	+ 6.2

売上収益の増減



* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む

2020年度 業績予想の修正

	今回予想	前回予想 2020/5/13公表	増減		2019年度 実績
	億円	億円	億円	%	億円
売上収益	3,730	3,835	△ 105	△ 2.7	3,798
販管費等 (内、研究開発費)	1,685 725	1,860 835	△ 175 △ 110	△ 9.4 △ 13.2	1,797 794
コア営業利益 ^{*1}	170	100	+ 70	+ 70.0	191
営業利益 ^{*2}	△ 625	170	△ 795	-	△ 61
当期利益（親会社帰属） ^{*2}	△ 525	85	△ 610	-	1

<修正理由>

売上収益：新型コロナウイルスに伴う受診抑制による減収及びロイヤリティ収入等の減少

コア営業利益：上記減収要因を上回る開発費用の発生遅れや販売活動縮小による経費減少

営業利益：ニューロダーム製品に係る無形資産の減損計上により、営業利益は減益

*1 今回予想における新型コロナウイルス影響：+35億円

*2 費用・損失の場合に△と表示

	今回予想	前回予想 2020/5/13公表	増減		2019年度 実績
	億円	億円	億円	%	億円
国内医療用医薬品	3,023	3,036	△ 13	△ 0.4	3,044
重点品	1,830	1,824	+ 6	0.3	1,771
ワクチン	408	410	△ 2	△ 0.5	390
長期収載品等	785	802	△ 17	△ 2.1	883
海外医療用医薬品	470	509	△ 39	△ 7.7	497
ラジカヴァ	201	224	△ 23	△ 10.3	231
ロイヤリティ収入等	152	199	△ 47	△ 23.6	174

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	今回予想	前回予想 2020/5/13公表	増減		2019年度 実績
	億円	億円	億円	%	億円
レミケード	450	448	+ 2	+ 0.4	534
シンポニー	427	423	+ 4	+ 0.9	410
ステラーラ	319	328	△ 9	△ 2.7	260
テネリア	149	149	-	-	152
カナグル	98	92	+ 6	+ 6.5	88
カナリア	93	93	-	-	67
バフセオ（8月発売）	5	2	+ 3	+ 150.0	-
レクサプロ	148	146	+ 2	+ 1.4	150
ルパフィン	100	102	△ 2	△ 2.0	68
イムセラ	41	41	-	-	42
重点品合計	1,830	1,824	+ 6	+ 0.3	1,771
インフルエンザワクチン	132	122	+ 10	+ 8.2	126
テトラビック	111	113	△ 2	△ 1.8	95
ミールビック	64	64	-	-	60
ジェービックV	53	53	-	-	52
水痘ワクチン	48	48	-	-	49
ワクチン合計	408	410	△ 2	△ 0.5	390
重点品・ワクチン合計	2,238	2,234	+ 4	+ 0.2	2,161

研究開発の状況 等



2020年度 第2四半期の概況

主な開発パイプライン

治験コード	適応症	開発段階	進捗状況
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験（長期安全性試験）実施中。10月に患者組入れが終了
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> 第3相臨床試験の立ち上げ期間に、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大が重なるなどしたため、試験計画に影響が生じることが判明 2023年度に申請する開発計画に変更
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	P3	<ul style="list-style-type: none"> 6月に開始したグローバルP3試験を実施中
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 (植物由来VLP*ワクチン)	P1	<ul style="list-style-type: none"> 7月に開始したP1試験がまもなく終了予定。今後、P2/3試験を開始する計画 10月にカナダ政府との開発助成金およびワクチン供給に関する契約を締結

*VLP (Virus-Like Particle) : ウイルス様粒子

国内トピックス

8月に腎性貧血治療剤「バフセオ」を新発売

ND0612 開発計画の変更および 減損損失発生について

■ ND0612 開発計画の変更

第3相臨床試験の治験施設の開設および患者組入れにおいて重要な立ち上げ期間に、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大が重なるなどしたため、試験計画に影響が生じることが判明し、当初より約1.5年の開発計画の延長を決定しました。

■ 減損損失（非経常項目）

上記変更に基づき、臨床試験の遅延、競合品の開発状況等から収益性が低下する見込みとなり、直近の市場調査結果を踏まえて事業計画を見直した結果、ニューロゲーム製品に係る無形資産の減損損失を845億円計上しました。

■ 今後の予定

変更後のND0612の開発計画は、現在実施中の第3相臨床試験の終了後、2023年度に米欧で同時申請し、承認取得後の2024年度の上市をめざします。

HIF-PH阻害剤 – 腎性貧血治療剤- バフセオ 新発売

Open Up the Future



腎性貧血患者さんの 負担を軽減するために



- 2020年8月26日販売開始（ピーク時売上141億円）
- **透析前の保存期から使用可能**なHIF-PH（低酸素誘導因子プロリン水素化酵素）阻害剤
- 透析領域に強みを持つ扶桑薬品工業とのコプロモーション
- 現在の標準薬は注射剤で、バフセオ錠など**経口**のHIF-PH阻害剤は、投与のための通院負担、投与時の疼痛、感染リスク等がなく、新たな治療選択肢になり得ると期待されています

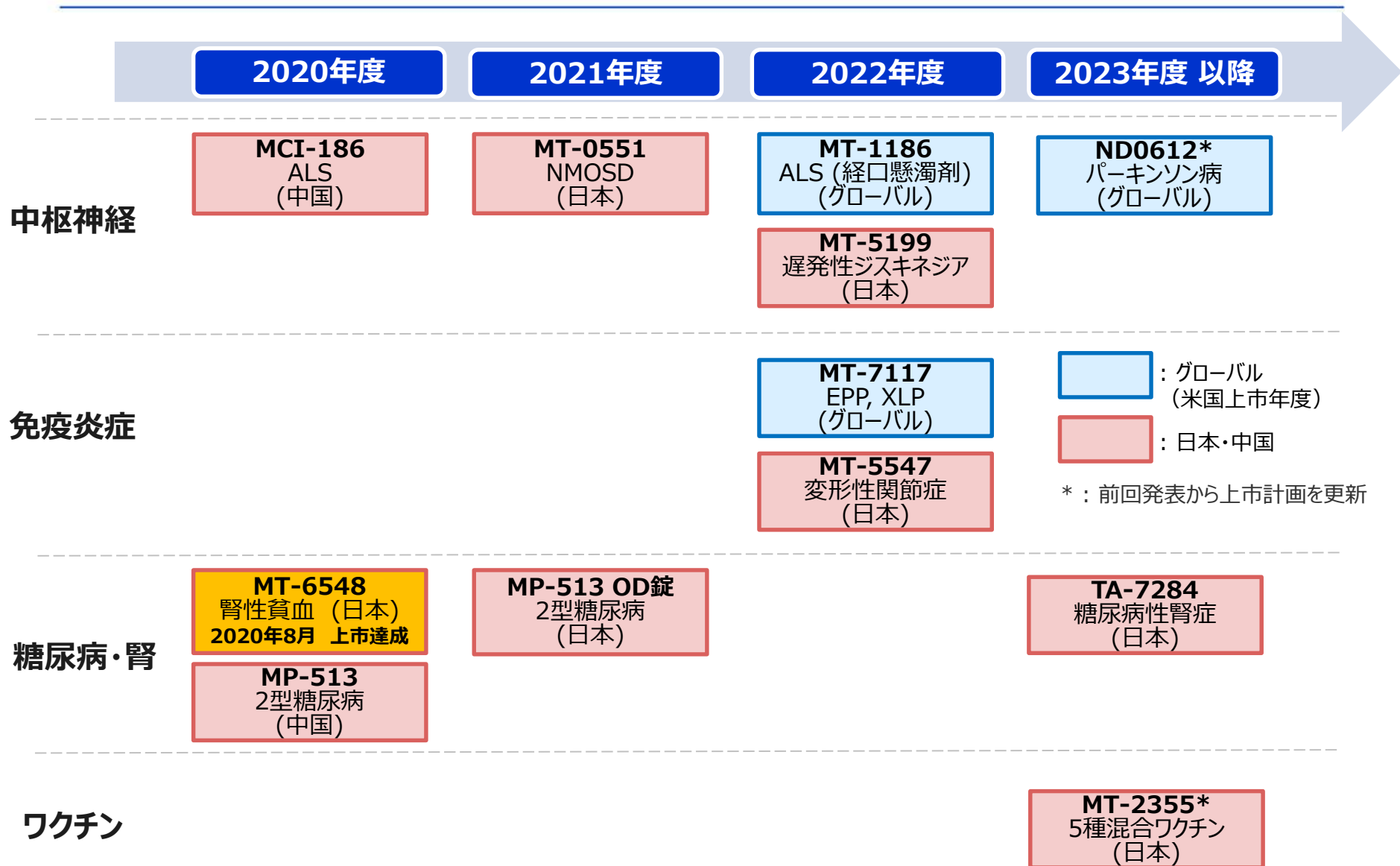
主な開発パイプライン 一覧

2020年10月25日現在

重点領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-8554	グローバル	更年期に伴う血管運動神経症状			準備中		
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)					
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
糖尿病・腎	MT-3995	グローバル	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)					
	MT-6548	日本	腎性貧血					2020年 6月
	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					
	MP-513	中国	2型糖尿病					
ワクチン	MT-2766	グローバル	新型コロナウイルス感染症の予防					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン*					

* 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

主な開発パイプラインの上市計画



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情電・ディスプレイ関連製品、高機能成形材料、高機能ポリマー、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。

但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

以上